

13 夏休み理科自由研究「サポート講座Ⅰ」 おもしろ化学実験 ～花火とナイロンの化学～

【担当講師】 池田 壽文(家政学部教授)

申込締切

7/13



講座日程	7月27日(土)
時間	9:30～11:00、11:10～12:40 [90分]×2コマ
定員	24名
受講料	3,000円
対象	小学4・5・6年生
持ち物	白衣またはエプロン(汚れても良い恰好で)、 タオル、筆記用具



◆講座概要

「花火はなぜいろんな色を生み出せるのか?」「ナイロンはどうやってできているのか?」「熱や光で分解されるわさびは、どうしてチューブの中で新鮮なままなの?」など暮らしの中にはいろんなギモンが広がっています。しかし、化学の原理を知っていれば簡単に理解して解決することができます。

今回は、花火の化学とナイロンの化学を実際に実験してみることで説明できるようにしていきます!

最後に、ワークシートにまとめてレポートを作成します。

講義

9:30～
11:00

花火はなぜいろんな色を生み出せるのか?

講義概要

花火の原理である炎色反応を行う。さまざまな金属イオンは特有の発色で燃焼する。パーナーの使い方と綿棒を利用したきれいな発色方法について説明します。

講義

11:10～
12:40

ナイロンはどうやってできているのか?

講義概要

一般的なナイロン66の合成を行う。界面重合の話をつわりやすく説明し、暮らしに身近なアイテムに触れることから、化学への興味を誘導します。

